

祝！日本選手権優勝！2022.5.3

アメリカやカナダで「パワーチェアサッカー」と呼ばれていたスポーツをヒントに、1982年に大阪でアレンジされた電動車椅子サッカー。この競技が京都に伝わり、すぐに「チャレンジ京都」というチームが立ち上がりました。チームは頑張って活動していたものの徐々にメンバーが減り一時活動を休止しました。2005年頃から若いメンバーが集まって活動を再開し、2006年末に名前を「SONIC〜京都電動蹴球団」と改め再スタート。2018年より京都の優良企業、JPDヘリポートを有する「株式会社 日本マネジメント開発研究所(JMDシミズ)」にスポンサー契約を結んでいただき、「JPDソニック〜京都電動蹴球団」として活躍しています。仲良く楽しくという初心も忘れず、月4回の練習を積み重ね、2022年5月に行われた第28回電動車椅子サッカー選手権大会(全国大会)では、みごと優勝に輝き、日本一の座を手に入れました。近頃新たに競技人口が増えてきた「パワーチェアフットボール」という競技に押され気味になっている電動車椅子サッカー。この火を消さないよう、そしてさらに上を目指して練習を積んでいます。障害をお持ちのみなさん！ぜひ一緒にプレーしませんか？また、ボランティアに興味のあるみなさん！ぜひ一緒にお手伝いいただけませんか？まずはメンバーみんなが一生懸命頑張っている姿を見にいらしてください。ご連絡をお待ちしております。



第28回 電動車椅子サッカー日本選手権大会 2022

主催：一般社団法人日本電動車椅子サッカー協会



代表：吉村 伸
監督：小林由紀子
ヘッドコーチ：畑中雅喜
コーチ：青木禎人
メディア担当スタッフ：岡田直之



畑中遼太 (No.1)



小林飛翔 (No.3)



青木亮太 (No.5)



福島徳高 (No.10)



河前雄也 (No.48)



吉村和馬 (No.53)



南部静耶 (No.55)



吉田将太郎 (No.36)



徳永真紀 (No.99)



初代監督：故荒木正幸
(No.24・永久欠番)



元監督：故増永明芳
(No.11・永久欠番)

休団選手：森 弘輔 (No.17) ・前田惟吹 (No.18) ・中川慶人 (No.51) ・菊池 誠 (No.77)

(育成選手)

(育成選手)



**選手・スタッフを
募集しています！**

まずは一度見学に来てください！

年齢・性別・障害の度合いは問いません。

<http://www.sonic-kyoto.org/>

ホームページで練習予定を確認してください！

審判ボランティア募集中！！

障害者が出会い、まるで「水を得た魚」という表現そのもののように生き活きとプレーしている『電動車椅子サッカー』ですが、近年困ったことになっています。実は深刻な審判の人材不足になっているのです。

「選手達が予定を調整し、会場も何とか段取りできて、ようやく試合開催となっても審判がいなくて中止！」という事態が頻繁に起こっています。審判はルールの把握はもちろん、ゲーム自体をコントロールする特殊な技能が求められ、難しいものです。ただ、いろいろとランクがあり、むいていくかを自分で確認いただくために、まずは練習試合の線審からお願いしたいと思っています。基本はサッカー同様、最後にボールに触った反対側のチームがキックイン（立位サッカーというスローイン）をします。その判定はゴールに入ったかどうかの判定ならちょっと慣れれば出来るようになります。まずはそのお手伝いをお願いしたいと思います。ランクアップについてはおいおい考えていきましょう。ぜひご参加下さい！

JPDソニック～京都電動蹴球団 育成会について

よりたくさんの方にソニックに関わっていただこうとこの会が結成されました。年間1口1000円以上の会費を下記口座に振り込んでいただいて会員になってください。年4回の会報誌「ソニック通信」で、チーム状況、試合・練習の予定をお知らせいたします。ぜひこの輪を拡げていき、ソニックの活動を見に来ていただき、応援していただきたいと思います。

郵便振替：00950-6-155755 SONIC 京都電動蹴球団

毎年4月1日～3月31日が会員期間となります。



「共に京都のサッカーチーム」として、京都サンガF.C.とは親しくお付き合いしています。年に一度、株式会社京都パールサンガ主催の「電動車椅子サッカー フレンドリーサンガカップ」を開催し、関西・北陸・東海地方のチームとの交流をしています。

スポンサー：株式会社 日本マネジメント開発研究所（JMDシミズ）
〒600-8411 京都市下京区烏丸四条下ル620
COCON烏丸ビル4階シティラボ内
TEL. 075-954-6666 <http://www.abab.co.jp/>

所 属：日本電動車椅子サッカー協会(JPFA)

結 成：2006年12月22日

練習日：原則毎月4回の土曜日・日曜日

練習場：京都市障害者スポーツセンター体育室
〒606-8106 京都市左京区高野玉岡町5番地
TEL.075-702-3370 FAX.075-702-3372
京都市障害者教養文化・体育会館 ほか

連絡先：

〒603-8179 京都市北区紫竹上梅ノ木町62 吉村 伸
TEL 090-1075-9782 shin@saikodo.com

お気軽にお問い合わせください。

京都唯一の電動車椅子サッカーチーム



を応援してください！



電動車椅子サッカーとは？

『電動車椅子サッカー』は、重度な身体障害があっても数少なく残された機能「手・足・口・顎」などを駆使して電動車椅子の運転が出来る方なら、誰にでも自在にプレーすることが出来る、障害者スポーツのひとつです。アメリカ、カナダ、ヨーロッパなどでも広くおこなわれており『パワーチェアーフットボール』と呼ばれています。

2007年10月には日本でワールドカップが開催され、大きく注目度を上げました。また、パラリンピックの競技種目としても候補に挙がってきています。バスケットボールコート全面を使用し、電動車椅子の足台部分に装着したフットガードや電動車椅子自体の側面をうまく使いながら直径約33cmのサッカーボールを打ち、1チーム4人で戦います。電動車椅子同士が互いに競り合いゴールを狙ってボールを追う様子は迫力満点です。

この競技の大きな特長は、運動機能の制約が大きい重度身体障害者でも電動車椅子の操作さえ確実に出来れば、選手としてプレー出来るということです。これまでスポーツをすることさえあきらめていた人でも、これなら自分でもやって行けるからと、新しく始められるケースもあります。また、電動車椅子を使うことで年齢や性別、障害程度などを問わず同じ条件で楽しむことが出来ます。